



## 東京PCB廃棄物処理事業だより (No.32)

### 年頭訓示

平成25年が無事故・無災害で操業できることを祈念し、操業開始に先立ってPCB廃棄物処理に当たるJESCO、TEO、TEEの3社合同による全体集会を行いました。

JESCO東京事業所長からは、労働災害の撲滅（ゼロ災の実現）と操業改善の取組みを今年の重点課題として、引き続き3社一体となって安全・安定的なPCB処理を行なっていくとの年頭訓示がありました。

また、TEO、TEE各所長からは、安全・安定操業、労働災害ゼロに向けて気持ちを新たにしてい取り組んでいくとの決意表明がなされました。



全体集会（決意表明）の様子

### 東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当処理施設の平成24年10月～12月の処理実績は下表のとおりです。

区 分	廃棄物種類	10月～12月 処理台数	操業開始からの 処理累計
高濃度PCB廃棄物	トランス類	136台	1,804台
	コンデンサ類	1,558台	20,828台
低濃度PCB廃棄物	柱上トランス絶縁油	419.0kl	10,277kl

\*高濃度PCB廃棄物については、処理に着手した台数を処理台数としています。

\*連結コンデンサは内部に含まれる台数でカウントしています。

\*東京事業所に係る安定器等の受入については、現在停止しております。

### ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京事業部会を開催しました。

平成24年10月29日に、平成24年度第3回目の東京事業部会（主査：永田勝也早稲田大学大学院教授）を開催しました。今回は、「東京事業所の改造計画（案）」を主な議題とし、「処理施設の視察」も併せて実施したため東京事業所での開催となりました。

視察ではPCB廃棄物の処理区域内で、処理の状況を直接見ていただき、適切なお意見をいただきました。

改造計画（案）については、出来る限り操業改善等を行った上での設備改造計画（案）を説明しました。

安全を最優先に、処理能力の向上を目指し、検討を進めていくこととしています。



事業部会委員による施設内視察の様子

## 環境ISO14001の定期審査について



ISO認証機関の審査（現場確認）の様子

平成24年11月28、29日の両日、高圧ガス保安協会ISO審査センターによるISO14001の定期審査を受審しました。

従来、当事業所単独での審査でしたが、昨年からはJESCO全社統合認証に切り替わり、今回が第1回目の定期審査でした。

環境影響の評価・環境管理計画の実施状況・トラブルへの対応・法令順守など、JESCO全社の中で、当事業所の環境マネジメントシステムが適切に運用され、継続的な改善が図られているかなどについて審査されました。結果、特に不適合となるような指摘事項はありませんでした。

2月初旬に全社統合認証の登録維持の承認がなされる見込みです。

## 新規収集運搬業者の入門許可について

平成24年度はこれまで(株)ジー・エス、(株)エコ・ポリスの2社に新規の入門許可をし、東京事業所へ高濃度のPCB廃棄物を収集運搬できる業者は32社となりました。これまでに入門許可した収集運搬業者については、当社HPで公開しています。

入門許可は、国の定めた収集運搬ガイドラインの厳守は元より、JESCOが規定している東京事業所受入基準の審査項目を遵守できる体制となっているかについて事業所内に設置した認定審査会で審査し、合格することが条件となっています。

主な審査項目は、①基準に合致した専用運搬容器の確保、②保管事業者から東京事業所までの運搬経路を常時確認できるGPSの設置、③運搬途中で交通事故などによりPCBを漏出させた際にも汚染箇所の原状回復に必要な費用負担に耐えられる保険の加入などがあります。

これまで、PCB廃棄物の収集運搬時にPCB漏洩トラブルの発生はなく、許可した収集運搬業者により安全に運搬されています。



## 平成24年度施設見学の状況



見学の様子

昨年4月から12月までの見学については合計617人の方々にお越しいただきました。昨年度は節電の関係で夏期に休止したこともあり年間で減少しましたが、今年度の見学者数は既に昨年度を上回りました。

外国からの見学は71人ありました。中国、東南アジア、アフリカ、中南米等さまざまな地域の方が見学にこられました。

見学は火曜日と木曜日に実施しています。ご希望の方は、下記の電話番号にて希望日時等ご相談下さい。

人数	4月～ 6月	7月～ 9月	10月～ 12月	合計
見学者数	91人	199人	327人	617人



日本環境安全事業株式会社 東京事業所  
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）  
TEL 03-3599-6023  
<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



## 東京PCB廃棄物処理事業だより (No.33)

### 新年度方針

平成25年4月1日、新年度のスタートにあたり所長から全職員に今年度こそ労働災害ゼロを達成すること。また、平成22年をピークに減ってきている処理棟内の少量漏洩や排気オンラインモニタリングでの警報等のトラブル撲滅に向けて、今年度は半減を当面の目標としていくことなど、下記の項目を今年度方針として取り組むことが示され、全員で確実に実行していくことを誓いました。

#### 平成25年度 東京事業所方針

1. 安全・安定な操業の確保
  - ①労働災害「ゼロ」の達成 ②トラブル件数の半減 ③血液中PCB濃度の低減
2. 早期処理、計画的処理の促進
  - ①設備改造による処理能力の向上 ②老朽設備の更新による安定操業の確保
  - ③操業改善の推進 ④処理計画に沿ったPCB廃棄物の安定搬入
3. 運転廃棄物等の処理の促進
4. 処理完了までの枠組みづくりの推進

### 東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

平成25年1月～3月期及び平成24年度における処理実績は下表のとおりです。

高濃度・低濃度区分	廃棄物種類	1月～3月	平成24年度 累計	操業開始からの 処理累計
高濃度PCB廃棄物	トランス類	183台	510台	1,987台
	コンデンサ類	1959台	6,241台	22,787台
低濃度PCB廃棄物	柱上トランス絶縁油	431.5kℓ	1,566.9kℓ	10,709kℓ

\*高濃度PCB廃棄物については処理に着手した台数を処理台数としています。

\*連結コンデンサは内部に含まれる台数でカウントしています。

### 総合防災訓練の実施について



総合防災訓練（現地指揮本部）の様子

総合防災訓練を3月15日の午後実施しました。訓練内容は震度5強首都圏直下型地震が発生、高濃度施設では1階洗浄室でIPAの漏洩・火災・負傷者発生、低濃度施設では屋外タンク（リサイクル油）付属配管から油漏洩が発生、との想定で実施したものです。

自衛防災組織の各本部毎に事前検討会を実施し、活動内容及び役割分担等の確認を行い、防災活動知識の向上を図りました。訓練は対策本部及び現地指揮本部の的確な連携のもと混乱なく実施されました。

今回は東京都環境局と江東区による視察も行われ有益な助言をいただきました。

平成25年度は個別防災活動を計画実施することでさらにレベルアップを図ってまいります。

### 東京消防庁総監賞の受賞について

3月7日 当事業所の運転会社（TEO）の危険物保安監督の担当者に、東京消防庁総監から表彰状が授与されることになり、臨港消防署より予防課長（総監代行）、課長補佐他が来所され、授与式が行われました。

この表彰は、東京消防庁開庁記念日に5年に一度行われるもので、永年に亘り危険物取扱者として積極的に危険物災害の予防に尽力し、他の模範となる者に対し授与されるものです。事業所職員全員が受賞を祝福し、施設の安全管理の重要性を再認識しました。



授与式の様子

## 処理施設の定期点検について

当施設では機器の法定検査や性能維持のための点検を毎年行っています。今年度は低濃度処理施設を4月15日から6月7日まで、高濃度処理施設を5月13日から6月11日までの予定で実施することとしており、その間はPCB廃棄物の処理を休止します。

今年度は、操業開始後8年近く経過したことから、設備の老朽化に対応するため一部の設備では更新工事も合わせて実施することとしています。また、処理能力を増強するための改造工事にも着手することとしています。

## 少量保管事業者に対する説明会の開催について



少量保管事業者処理説明会の様子

当社では、PCB廃棄物（トランス、コンデンサ等）の少量保管事業者を対象に、「PCB廃棄物処理説明会」を開催しています。

3月27日の説明会では合わせて54社の事業者の方々にご出席いただきました。

説明会では、平成25年7月の重点搬入期間に向けて、受入までに進めていただく契約手続き、事業者間の積み合わせ運搬等の説明を行いました。

今後も計画的に処理説明会を実施し、円滑なPCB廃棄物の処理を継続してまいります。

## 首都圏広域協議会の開催について

平成25年3月12日、東京都庁にて第17回「首都圏広域協議会」が開催されました。広域協議会は1都3県及び13市で構成され、東京PCB廃棄物処理事業に係る広域調整に関して、安全の確保及び連絡調整を図ることを目的に設置されています。

会議では、まず環境省より今後のPCB廃棄物の処理推進についての報告があり、当社より処理促進に向けた取り組み状況などの報告を行いました。その後平成24年度の処理実績及び処理の進捗状況、平成25年度の1都3県の受入予定量などについて、報告し審議が行われました。この他、消費税が引き上げられた場合の処理料金の改訂について説明を行いました。

PCBの円滑な処理を進めるため都縣市間での有意義な意見交換がなされました。



首都圏広域協議会の様子

## 平成24年度施設見学について

平成24年度は合計823人の方々に施設見学にお越しいただきました。内訳としては、保管事業者の方、官公庁の方、学生、スーパーエコツアーの参加者、海外からの方などさまざまです。

平成24年度 見学者数

	4月～ 6月	7月～ 9月	10月～ 12月	1月～ 3月	合計
団体数	13団体	24団体	34団体	19団体	90団体
見学者数	91人	199人	327人	206人	823人

見学を希望される方は、下記の電話番号へお問い合わせください。



日本環境安全事業株式会社 東京事業所  
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）

TEL 03-3599-6023

<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>